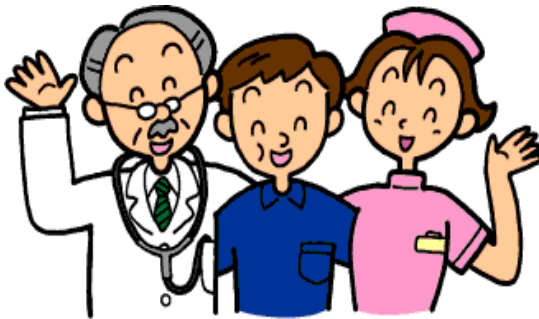


化学療法 (DC療法) を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

項目 \ 月日	/ 入院	/ 1日目	/ 退院
達成目標	・化学療法のオリエンテーションを受け理解できる ・分からないことや不安などを医療者に表出し、準備が整った上で治療に臨むことができる ・発熱がない（38.0℃以上）	・副作用症状が増強した時に、対処方法をとることができ症状が緩和できる	・退院後の日常生活の留意点が言える ・異常を自覚した場合の対処法が言える
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ		【点滴の順番】 薬剤師が説明した用紙をご参照下さい ご不明な点は看護師・薬剤師へお尋ね下さい 	【内服】 吐き気止めを内服します 
検査	・入院時に採血があります ・体重を測定して下さい	・抗がん剤の点滴の間は心電図を装着します（3クール目まで） ・体重を測定して下さい	・採血があります ・体重を測定して下さい
活動・安静度	・制限はありません	・制限はありませんが、お薬の点滴もれを防ぐために移動の際にはナースコールをお願いします	・制限はありません
食事	・制限はありません	・制限はありません。食べられるものを好きな時に とってください	・制限はありません
清潔	・シャワーが行えます	・抗がん剤当日は治療前のシャワー浴をお勧めします	・シャワーが行えます
排泄		・便秘の場合はご相談ください ・尿量を測定してください	・便秘の場合はご相談ください
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・入院生活のオリエンテーションを行います ・初めての治療の時には医師より説明があり、同意書を書いていただきます。薬剤師と看護師が化学療法のオリエンテーションを行います。副作用の対処方法についても説明を行います。退院までに看護師が退院指導を行います	・個人差もありますが、吐き気などの副作用症状が出る場合がありますので、異常を感じたらご相談ください ・息苦しさや胸が苦しいなどの異常を感じたらお知らせください	・退院までに退院指導を行ないます ・退院後に必要なお薬の希望がありましたらお知らせください ・治療後2～3日後に副作用で、手や足のしびれ、関節痛や筋肉痛が出現することがあります。そのため、膝がカクンと力が抜けることがありますので歩くときは気をつけましょう。4～5日後をピークに徐々に落ち着いていきます。痛み止めや湿布薬などの処方もできますのでご相談ください
その他	・食事の変更ができます *例：お粥希望・パン食希望 *治療のため吐き気が出た場合は、病院の食事を欠食にすることができます ・薬にアレルギーがある方、アルコールに弱い方は申し出て下さい	・点滴が漏れた場合、点滴の種類によっては膚炎や壊死を起こすことがあります。点滴が入っているところが痛い・赤い・腫れている・硬くなっている・機械の音が鳴るなどの場合はお知らせください	・10時退院予定です ・次の外来受診日を確認してください 産婦人科病棟直通 0985-85-1746

注：イラストはMPCのイラスト集より転載

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです
諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください

宮崎大学医学部附属病院